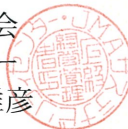


温室効果ガス排出量 検証報告書

2025年7月28日

株式会社たけびし 御中

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者 前田 雅彦



1. 検証の対象及び目的

株式会社たけびし（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2024年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象における都市ガス、ガソリンの使用に伴って直接的に排出されるCO₂排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象における電力の使用に伴って間接的に排出されるCO₂排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法^{※2}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従ってGHG排出量情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 本社への訪問による算定対象範囲、集計、算定方法、体制の確認、及び、算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量情報の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された2024年度のGHG排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e)	
スコープ1 ※3	349
スコープ2 (ロケーション基準) ※4	536
スコープ2 (マーケット基準) ※5	0

NOTE:

※1：算定対象は以下11事業所

本社、東京支店、甲府営業所、名古屋支店、滋賀支店、栗東支店、畿北支店、大阪支店、九州支店、
たけびし西倉庫、ヴァンヴェルデ西京極（共用部）

※2：スコープ1,2の算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.6)」、
「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.4)」、
及び、事業者が作成した「算定手順書」

※3：都市ガスの排出係数：ガス事業者別排出係数を使用

※4：電力の排出係数：全国平均係数を使用

※5：電力の排出係数：電気事業者・メニュー別基礎排出係数を使用
グリーン電力証書を使用

以上